

労農連帯を一層強め、三里塚・ジェット闘争を貫徹しよう!

# 前進に実を着 整備組織

## 各支部乗務員分科会結成される。

団結署名「進心蘇我支部」  
支部乗務員分科会結成新小岩支部

「本部」暴力集団は4・28(5・1)の全国オルグで、千葉地本再建を豪語したが動労千葉の強固な団結の前に無駄金を使い果し、全国の組合員をデマ宣伝の中で引き回したことに由来する「本部」側の意識分裂・組織的亀裂を一層深化させたことも含め、かくしよりのな破産の現実に向かい、今日では、動員力も減少し、陰湿な組織破壊とデマ宣伝をもって職場に押しつけてきているものの連日消耗をくり返している。一方、こうした攻撃に対し、動労千葉は自らの闘いと路線の正義性との確信を持ち、着々と組織体制を強化してきている。

### 組織破壊攻撃に抗し つぎつぎと結成!

地本乗務員分科会は、五月一九日動力車会館において臨時委員会を開催し、同時に結成委員会に切り換え、規約、共済の充実、強化をかちとった。

それをうけて各支部の乗務員分科会は、連日の「本部」暴力集団の破壊策動に抗し、次々と結成委員会をかちとってきている。

五月二四日 木更津支部乗務員分科会結成委員会。

五月二八日 勝浦支部乗務員分科会結成委員会。

六月五日 新小岩支部乗務員分科会結成委員会。

その他の支部においても、新乗務員分科会結成に向け準備が進められている。

われわれは、連日の「破壊オルグ」に対しても万全の体制で対峙してきているが、とりわけ新小岩支部において、他支部に先がけて乗務員分科結成委員会がかちとられたことは、東京乗り入れが多い中で、東京管内の乗り入れ先における「本部」暴力集団によるいやがらせ「オルグ」が日常的に行われているという状況下で、全組合員の創意あふれる闘いを展開しつつ着々と組織強化をかちとってきていることを示している。

六月七日、新小岩支部は、支部結成以来はじめての委員会を開催し、動労千葉第二回臨時大会方針と決定事項、討議内容の報告と、支部としての当面の闘う方針を確立し、全体化してゆく方向を確認した。

### 更に不動の組織・強化をかちとろう!

動労千葉は、第二回臨時大会において、いまだ結成大会が開かれない三支部についての組織強化を確認したところであるが、蘇我支部にお

いては、すでに団結署名が八〇パーセントをこえてきているのははじめ、佐倉、銚子においても支部結成大会へ向けて、情勢が切り拓かれてきている。

このように路線の正義性に裏付けられた動労千葉の闘いは、確実に前進している。更に全組合員の確信を深め前進をかちとってゆこう。

### 反動の「サミット」と八〇年代労働運動のゆくえ

(2) 中心となる議題とその問題点

中心となる議題は「世界経済情勢(成長、雇用、インフレ)」「エネルギー」「通貨」「貿易」「南北問題」とされている。

イラン革命に象徴されるように今日、世界的に政治的・経済的に危機が激化しており、特に石油価格の高騰(昨年末比三四%高)、インフレの激化、設備投資意欲の減退、失業者の増大、不況の深刻化、このような状態は例外なく各国を危機に陥れており、カーターを始めとする各首脳は足元そのものが揺らいでいる。各国の利害の対立はぬきさしならないところまで深刻化しており、口先の「協調」とは名ばかりで、露骨な「対立」「競争」がその実際の姿である。「現在のワケ組み(体制)の改革」がサミット準備会議の中で語られているという。

問題はこうした支配者たちのいう現体制打破なるものが、実は露骨な、「実力」行使を意味しており、必ず圧倒的多数を占める労働者・農民・人民の側への犠牲の押しつけ、後進諸国への集中的矛盾のしわ寄せを通して行なわれ、また、資源や市場をめぐる大国間の戦争や後進諸国への侵略への方向を一挙に強めているところにある。

ちなみにこれら各国は、例外なく軍事費の急激な増強をもって対処せんとしており、日本はその先頭に位置しているのである。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!